# 保証とアフターサービス

### ●保証書
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

### ●補修用性能部品の最低供給年限
この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後3年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●ご不明な点に関するご相談
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### ●修理を依頼される場合
「故障かな?と思ったら」にしたがってお確かめいただき、なお問題が解決しない時は、電源を切り、販売店にご連絡ください。

### ●保証期間中は
修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

### ●保証期間が過ぎている時は
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。

## 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 品　　名 | ファクトインコール | | |
| 無料修理保証期間 | 1 年 | お買い上げ日 | 年　月　日 |
| お　客　様 | 住所　〒<br><br>TEL | | |
| | 氏名<br><br>様 | | |
| 販　売　店　名 | <br><br>印 | | |





# FACT in CALL
ファクト イン コール

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。

## INDEX


安全上のご注意 …… 1
はじめに …… 4
受信表示機 …… 6
携帯受信表示機 …… 14
充電器 …… 22
受信スピーカー …… 24
送信機 …… 26
消去&設定機 …… 32
リピータ(中継機) …… 38
お手入れ方法 …… 40
故障かな?と思ったら …… 40
仕様 …… 41
ディップスイッチ設定一覧 …… 44
保証とアフターサービス …… 46

# 安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害、損害を未然に防止する為のものです。
注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

**⚠警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**⚠注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

・この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。

・記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

・記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

## ⚠警告

●お手入れの前には、電源プラグを抜いてください。（感電のおそれがあります。）

●コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電やショートして発火することがあります。）
●コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。（感電やショートして発火することがあります。）

## ⚠警 告（つづき）

●製品に水や洗剤をかけないでください。
●水のかかるところや、湿気の多い場所には設置しないでください。（火災や感電のおそれがあります。）

●修理技術者以外の人は、分解したり、修理・改造は行わないでください。（火災や感電のおそれがあります。）

●コードを乱暴に扱わないでください。
●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてから使用してください。（火災や感電のおそれがあります。）

●煙が出たり、変な臭いや音がするときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。（火災や感電のおそれがあります。）
●内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。（火災や感電のおそれがあります。）

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。（感電の原因となります。）

## ⚠注 意

●電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。（感電やショートして発火することがあります。）

●不安定な場所や火気の近くでは使用しないでください。（変形・故障の原因となります。）

●送信機・消機の乾電池は極性に注意して表示通りに入れてください。また新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる電池を混ぜて入れないでください。（乾電池の液漏れ・故障の原因となります。）



## ⚠注 意（つづき）

●乾電池は充電しないでください。（乾電池の液漏れ・故障の原因となります。）

●受信機・外部アンテナを移動させるときは、アンテナを折りたたんでから移動させてください。（アンテナが折れたり、アンテナの先でけがをする原因となります。）

●長期間、ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。（火災の原因となります。）

●雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。（火災や感電のおそれがあります。）

●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
●通気孔をふさがないでください。（火災や故障の原因となります。）
●磁気を帯びたものを近づけないでください。（故障の原因となります。）

**ご注意**

●ファクトインコールは報知・連絡用です。生命救済、犯罪防止を目的にした機器ではありません。
●電波の届く距離は使用場所や条件によって短くなる場合があります。

**■設置場所に関するご注意**

電波を受信する受信表示機・携帯受信表示機・受信スピーカー・中継機（リピーター）は、周囲のノイズ（妨害電波）に影響を受けた場合、送信機・消去機・携帯受信表示機からの信号を的確に受信できず正常に作動しない場合があります。
受信表示機・受信スピーカー・中継機（リピーター）は、ノイズ（妨害電波）を発生させやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。
また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意ください。
他に、電波やノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。

◎ノイズ（妨害電波）を発生させやすい機器の例
空調機・室外機 / 冷蔵庫 / 冷蔵ケース・室外機 / 通信関連の中継機（OES・携帯電話・無線LAN）/
その他消費電力（W数）の多い電気器具のオン・オフ時等

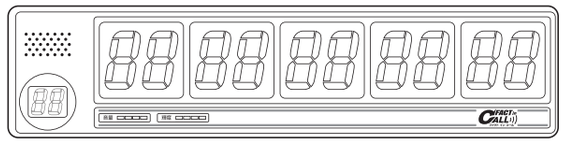
# はじめに

## 製品紹介

ファクトインコールは以下の製品を組み合わせて使用することで、コードレス・チャイム・システムとして機能します。

### 受信表示機

**■標準型**
3色のLEDで色分け表示できるモデルです。



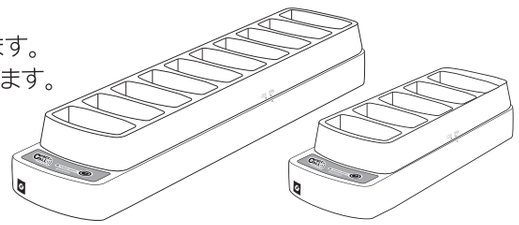
- ➲赤・黄・緑の3色表示
- ➲各色255通りの設定自由自在
- ➲先着順に番号表示
- ➲コール残数表示
- ➲時間経過を点滅表示でお知らせ

約30秒点灯 → ゆるやかな点滅表示 → 30秒後 → 点滅表示 → 30秒後 → 早い点滅表示
（2秒点灯/0.5秒消） （1秒点灯/0.5秒消） （0.5秒点灯/0.5秒消）

**■携帯受信表示機（消去機能付）**
バイブレーション機能も備えたモデルです。

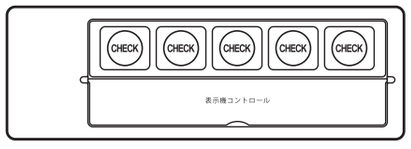
### 充電器

**■充電器**
複数の携帯受信表示機を一度に充電できます。
10台タイプと5台タイプをラインナップしています。



### 消去&設定機

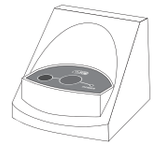
**■消去&設定機**
受信表示機の表示を消去する際に使用します。
また受信表示機の各種設定を行うことができます。

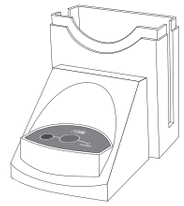




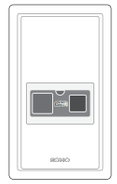

### 送信機

**■スタンダード型**
**■ナプキンスタンド型**
ワンタッチでトラブル発生を受信表示機へ告知。さまざまな現場に対応するシンプルな標準型送信機です。
「部品切れ」または「機械故障」など、2種類のトラブル発生を受信表示機へ送信できるタイプの送信機です。
飲食店用には、「ご注文」・「お会計」などのシールをご用意しています。

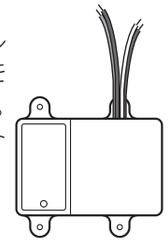




**■カード型**
カードサイズのコンパクトな送信機です。スタンダード型を置きにくい場所にも設置できます。



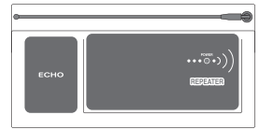
**■外部入力型**
無人運転機器にトラブルが発生した場合に、信号を受信表示機へ自動送信。管理者が操作しなくてもトラブル発生を知らせます。



### 受信スピーカー&リピーター（中継機）

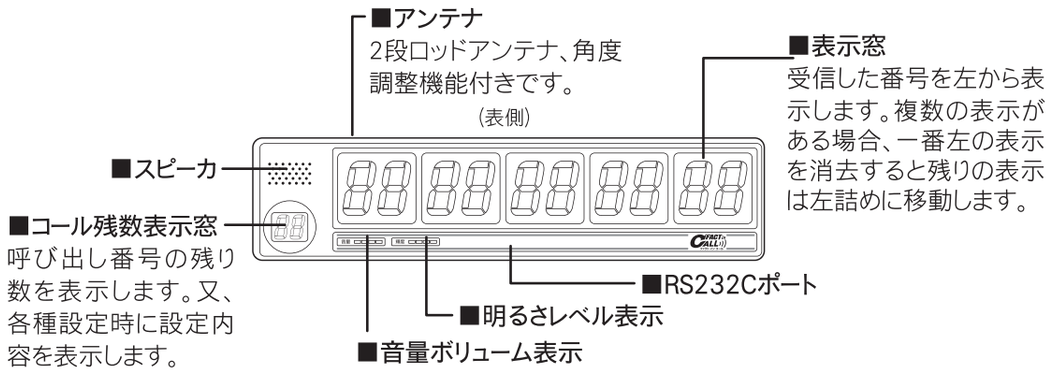
**■受信スピーカー**
受信表示機から離れた場所でもチャイム音を確認できます。

**■リピーター（中継機）**
入り組んだ工場など、電波が届きにくい場所で使用します。複数台設置可。MAX8台。



# 受信表示機

## 各部の名称/機能




### 設置場所

**重要**

**電波を受信する受信表示機・携帯受信表示機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、周囲のノイズ(妨害電波)に影響を受けた場合、送信機・消去機・携帯受信表示機からの信号を的確に受信できず正常に作動しない場合があります。**
**受信表示機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、ノイズ(妨害電波)を発生させやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。**
**また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意ください。**
**他に、電波やノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。**

◎ノイズ(妨害電波)を発生させやすい機器の例
空調機・室外機 / 冷蔵庫 / 冷蔵ケース・室外機 / 通信関連の中継機(OES・携帯電話・無線LAN) / その他消費電力(W数)の多い電気器具のオン・オフ時等

**⚠注 意** 火災や感電の恐れがあるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。



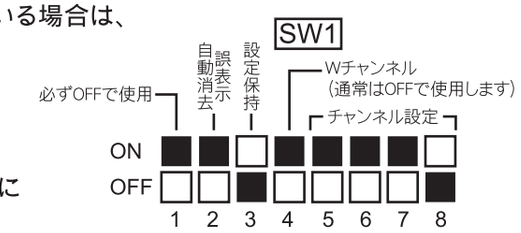
((ワンポイント))
- ●金属類に近い場所に設置すると電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置してください。
- ●吊り下げ金具および壁掛け用金具をご用意しています。必要に応じてご利用ください。
- ●固い床の上などに落とすと故障する場合があります。なるべく落下しにくい場所へ設置してください。

### チャンネル設定

チャンネルは15(1～15)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。
受信表示機にはディップスイッチがあります。チャンネルの設定にはディップスイッチを使います。
設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。受信表示機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

**1** 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、電源プラグをコンセントから抜きます。
**2** 設定窓を開けます。
**3** SW1でチャンネルを設定します。
**4** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じてチャンネルを変更してください。
**5** 設定終了後、電源を入れてディップスイッチ左横のリセットSWを押して設定変更の書込を行ってください。




※ 口がディップスイッチの位置となります。
※ チャンネル設定の詳細につきましては P45をご参照ください。

**⚠注 意** 電源を入れたままで設定を行うと、配線がショートし機器が損傷する場合があります。必ず電源プラグをコンセントから抜いて操作してください。

((ワンポイント))

**●停電時のバックアップ機能**
バックアップ機能を搭載。0.1秒程の瞬間停電はもちろん、数秒間程度の停電にも対応。コールをしっかりと記録し、復旧後に呼出し番号を表示します。

**●リセットSW**
初期設定に戻ります。(音量(2段階)、明るさ(最大)、音色(ピンポーン)) 但し、設定が保持されている場合、初期設定に戻りません。また、設定変更時に使用します。

**●設定の保持機能**
長時間電源を切る場合などの時、設定機で設定した音色、音量、明るさが初期設定に戻らない様設定を保持します。
※この場合、保持機能が優先されますので、リセットボタンを押しても初期設定に戻りません。設定機以外で設定を初期化する時は保持機能を解除してください。

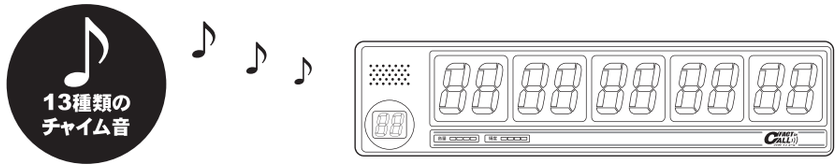
**●誤表示自動消去機能**
ごく稀に外部のノイズ等の影響により、受信表示機の表示窓に、実際には設定されていない数字や文字化け等が表示されることがあります。それらの表示を除去するため、自動的に正しく受信されたもの以外を3秒毎にチェックし、消去する機能です。

**●Wチャンネル**
Wチャンネルとは、特定の2つのch(チャンネル)を受信できる機能です。チャンネル1～5を設定した場合において、対応した11～15のチャンネルも受信できます。
［例］1ch+11ch、 2ch+12ch、 3ch+13ch、 4ch+14ch、 5ch+15ch

## 音色設定

チャイム音を13種類の中から設定することができます。

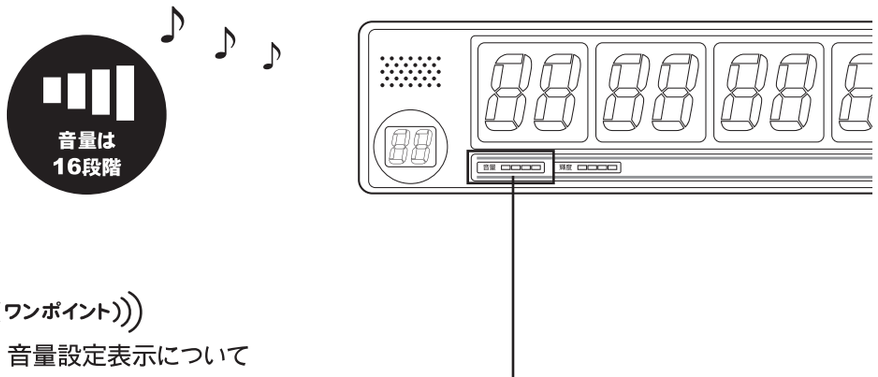
※設定は消去&設定機で行います。詳細につきましてはP36をご参照ください。




## 音量設定

呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定することができます。

※設定は消去&設定機で行います。詳細につきましてはP34をご参照ください。




(((ワンポイント)))

**音量設定表示について**

4個のLEDで音量の設定状態を表示します。

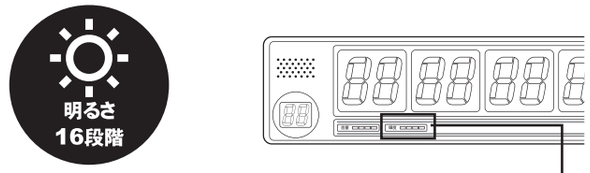
| 音量 | LED |
|---|---|
| 1～4 | 1個点灯 |
| 5～8 | 2個点灯 |
| 9～12 | 3個点灯 |
| 13～16 | 4個点灯 |



## 明るさ設定

LEDの明るさを16段階で設定することができます。

※設定は消去&設定機で行います。詳細につきましてはP34,35をご参照ください。




(((ワンポイント)))

**明るさ設定表示について**

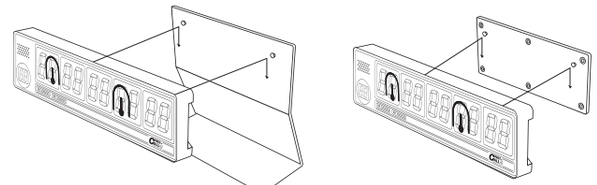
4個のLEDで明るさの設定状態を表示します。

| 明るさ | LED |
|---|---|
| 1～4 | 1個点灯 |
| 5～8 | 2個点灯 |
| 9～12 | 3個点灯 |
| 13～16 | 4個点灯 |

## 設置方法(オプション)

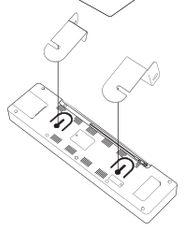
**◆壁面取り付けの場合**

専用の取付金具をご用意(オプション)しています。図のようにネジを取り付け、本体の壁掛け用穴に引っ掛けて使用してください。



**◆天井吊り下げの場合**

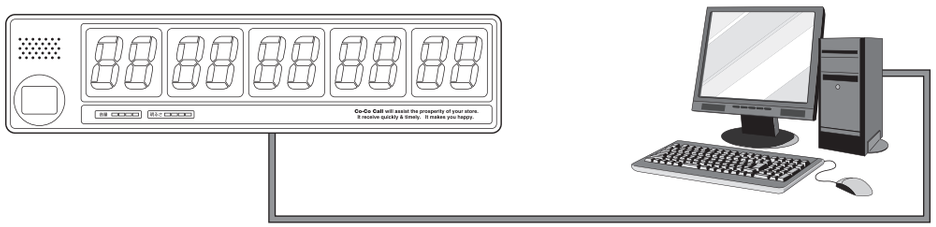
専用の取付金具をご用意(オプション)しています。
図のように金具を取り付けて使用してください。



・受信表示機本体の重量は約1.5kgです。吊り下げても問題がないことを充分に確認してから作業を行ってください。

## パソコン接続

受信表示機とパソコンをRS232Cケーブルで接続できます。
送信データをパソコンに表示させることが可能になります。



## 受信表示機とパソコン（RS232Cケーブル）の接続方法

**1** パソコンと受信表示機をRS232C（ストレートケーブル）で接続します。

**2** Windowsの［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］をポイントします。

**3** 次に、［アクセサリ］の［通信］をポイントして［ハイパーターミナル］をクリックし、アプリケーションを起動します。

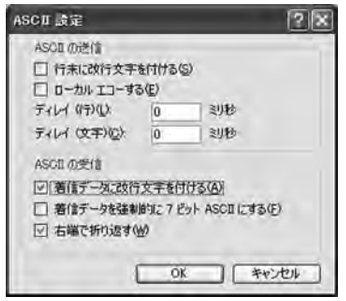
（1）「接続の設定」の画面が表示されたら、名前（任意）を入力して［OK］ボタンをクリックします。

（2）「接続方法」を変更します。パソコンのコムポートを指定（COM1～COM4等、パソコンにより決まる。）して［OK］ボタンをクリックします。

（3）「コムポートの画面プロパティ」画面が表示されましたら、「ビット/秒」を9600に指定して［OK］ボタンをクリックします。

（4）「ハイパーターミナル」画面の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックし、プロパティを開きます。［設定］タブをクリックして表示を切り替え、［ASCII設定］ボタンをクリックします。

（5）「ASCII設定」画面が表示されたら、「着信データに改行文字をつける」にチェックを入れ、［OK］ボタンをクリックします。




（6）「プロパティ」画面に戻り、［OK］ボタンをクリックしてプロパティ画面を閉じます。送受信データを受信するとこのように表示します。

## データ出力設定方法

データ出力用ソフトウェアをご用意しております。必要とされる方はお気軽にお問い合わせください。

**1** 受信表示機とパソコンをRS232Cのストレートケーブルで接続し、データCDまたはフロッピーディスクをセットします。

**2** 「マイコンピュータ」などで、セットしたディスクドライブを開き、「CoCo Trace」実行ファイルを表示します。

**3** 「CoCo Trace」を右クリックしたままドラッグし、デスクトップ上で離してショートカットを作成します。

**4** デスクトップに作成したショートカットから、「CoCo Trace」を起動します。

**5** 「設定」をクリックし、COMポートを選択します。（パソコンの種類によって異なる場合があります。）

**6** もう一度「設定」をクリックし、フォルダを開きます。

**7** 「データ保存先」を決めると設定完了です。待機状態になり、出力が開始します。

## データ出力仕様

PCのカレンダー時計を利用します。送信機から出力されるデータの仕様は次のとおりです。

2010/09/27, 11:47:12, S, 01, 88, G, 6A

- 2010/09/27：西暦 / 月 / 日
- 11:47:12：時：分：秒
- S：S:データ入 C:消去（送信機・携帯受信表示機からの信号） W:消去（消去設定機からの信号）
- 01：チャンネル:01～15
- 88：番号:01～FF
- G：色:R=赤 Y=黄 G=緑
- 6A：チェックサム

設定した「データ保存先」に、1日分のフォルダが作成されます。
フォルダ名は右図のような規則で作成されます。

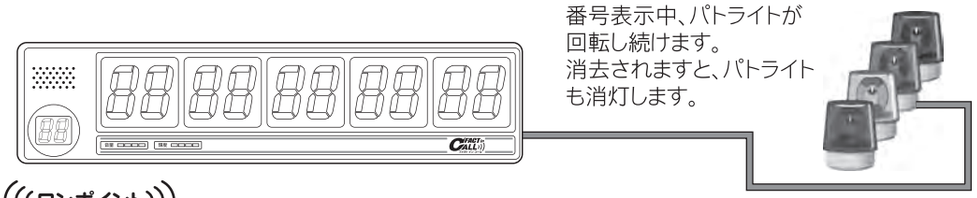
CC20100927

- 20100927：月日（9月27日）
- CC20100927：西暦（2010年）

日付が変わると自動更新を行い、新しいフォルダが作成されて保存を繰り返します。

| A | B | C | D | E | F | G | H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2010/09/27 | 11:47:12 | S | 01 | 88 | G | 6A | |

## パトライト接続




((ワンポイント))

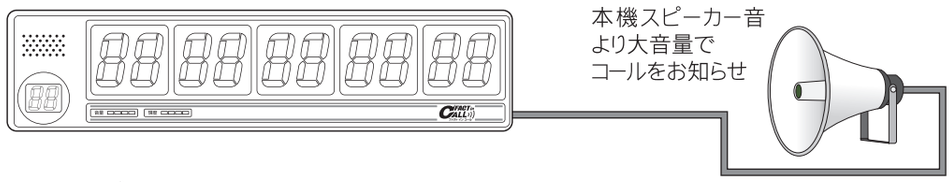
オプションとしてパトライトをご用意しております。
詳しくはお問い合わせください。

推奨パトライト

(株) パトライト MODEL KPE-100-R

## 外部スピーカー(アンプ内蔵型)接続

受信表示機と外部スピーカーを接続することができます。




((ワンポイント))

オプションとして外部スピーカーをご用意しております。
詳しくはお問い合わせください。

推奨外部スピーカー

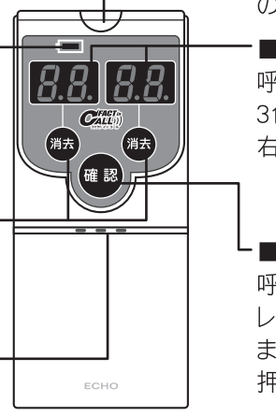
(株) ノボル電機製作所 MODEL FH-595



MEMO

# 携帯受信表示機

## 各部の名称




**■受信ランプ**
呼び出しや充電中など
の状況を表示します。

**■電池残量表示LED**
電池の残量を表示します。LED
が点灯した場合には速やかに
充電してください。

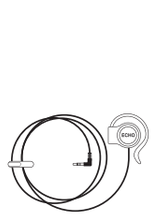
**■番号表示窓**
呼び出した送信機の番号を表示します。
3色表示機能搭載。待ち受け時には
右端のドットが点滅します。

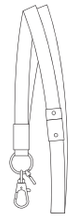
**■消去キー**
対応した呼び出し番号表示
の消去信号を出力します。

**■確認キー**
呼び出し受信ランプおよび、バイブ
レーション、チャイム音を停止します。
また、2秒間長押しで電源OFF、1秒間
押しでONできます。

**■スピーカー**
呼び出しチャイム音でお
知らせします。

**■バイブレーションモーター**
呼び出しをバイブレーション
でお知らせします。





**■専用イヤフォン　■専用ストラップ**
標準で添付しています。

## 主な機能

- ●呼び出しを受信すると番号表示と同時に受信ランプが点滅。呼び出しをわかりやすくお知らせします。また、番号表示中、同じ番号の呼び出しを再度受信すると、番号表示の点滅が早くなります。
- ●呼び出しはバイブレーション（振動）やチャイム音でもお知らせできます。
- ●使いやすく見やすい2窓3色表示を実現。2か所からの呼び出しを表示します。それ以上の呼び出しがあった場合は本体内のメモリに記録し、消去された空窓に順次表示します。
- ●消去機能を搭載。他の表示機の呼び出し番号を消去できます。
- ●バッテリー低消費表示機能を搭載。より「長持ち」を可能にしています。
- ●専用イヤフォンとストラップを標準で添付しています。
- ●専用イヤフォンを使用中は、本機からのチャイム音は出ません。

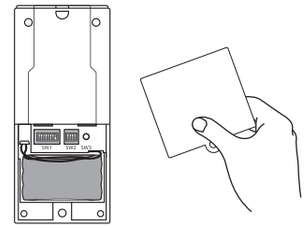


## チャンネル設定

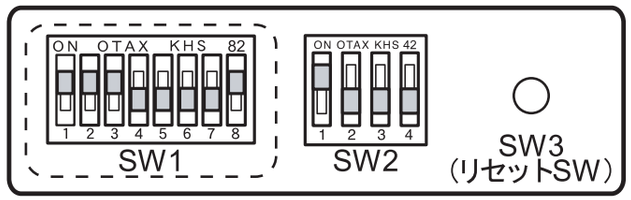
チャンネルは15（1～15）の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。
携帯受信表示機にはディップスイッチがあります。チャンネルの設定にはディップスイッチを使います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

> ※通常、チャンネルを変更する必要はありません。携帯受信表示機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

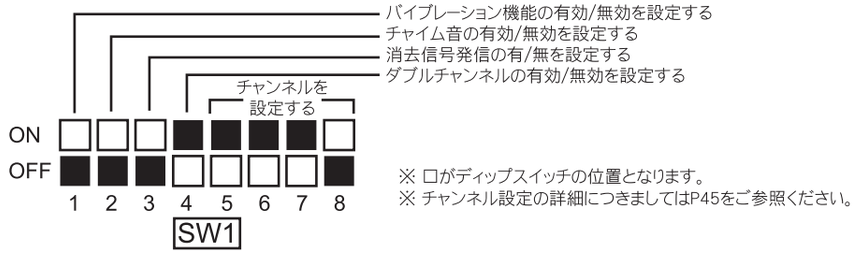
**1** ビスを外して裏板を外します。



**2** チャンネルは向かって左側のディップスイッチ（SW1）で設定します。




**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じてチャンネルを設定してください。




※ 口がディップスイッチの位置となります。
※ チャンネル設定の詳細につきましてはP45をご参照ください。

**4** 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

**（（（ワンポイント））)**

- ●Wchとは、特定の2つのch（チャンネル）を受信できる機能です。チャンネル1～5を設定した場合において、対応した11～15のチャンネルも受信できます。

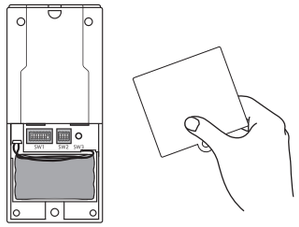
［例］1ch+11ch、 2ch+12ch、 3ch+13ch、 4ch+14ch、 5ch+15ch

**⚠注 意**　ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。

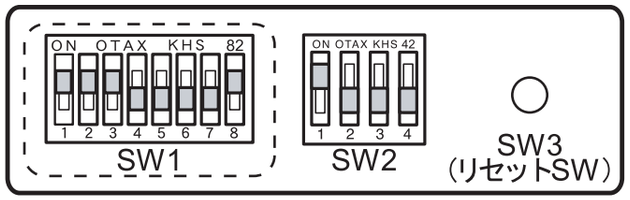
## バイブレーション機能の有効/無効

携帯受信表示機のバイブレーション機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行ないます。設定の際にはスイッチを間違えないようにご注意ください。

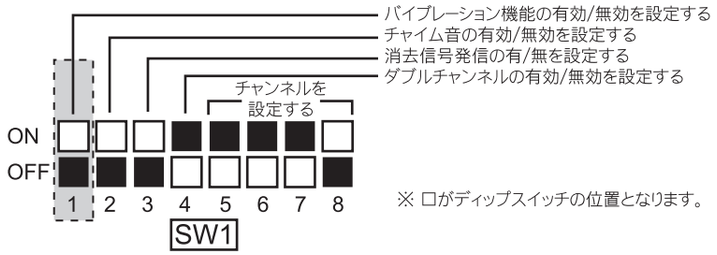
**1** ビスを外して裏板を外します。



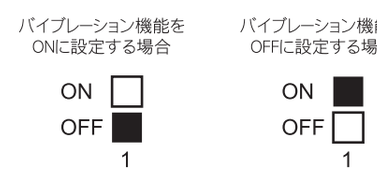
**2** バイブレーション機能は向かって左側のディップスイッチ(SW1)で設定します。




**3** バイブレーション機能は工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定してください。




［設定］




**4** 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

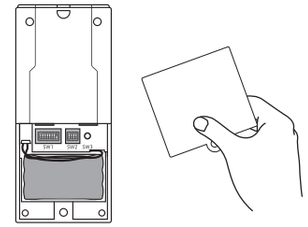
**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。



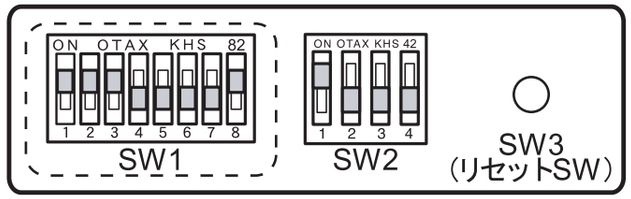
## チャイム音設定の有効/無効

携帯受信表示機のチャイム音を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行ないます。設定の際にはスイッチを間違えないようにご注意ください。

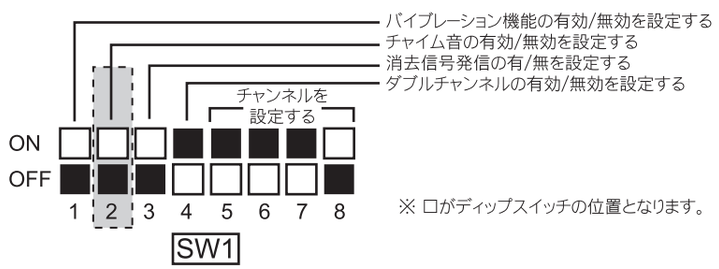
**1** ビスを外して裏板を外します。



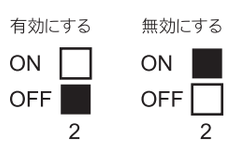
**2** チャイム音設定は向かって左側のディップスイッチ(SW1)で設定します。




**3** チャイム音設定は工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定してください。




［設定］




**4** 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

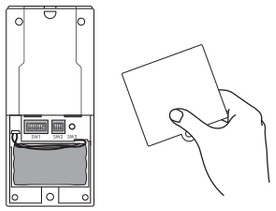
※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。

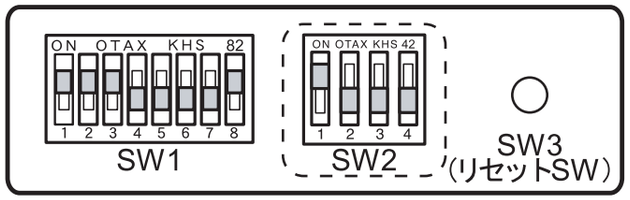
## チャイム音の大/小

携帯受信表示機のチャイム音の大きさを2段階（大/小）で切り替えられます。設定はディップスイッチにて行ないます。設定の際にはスイッチを間違えないようにご注意ください。

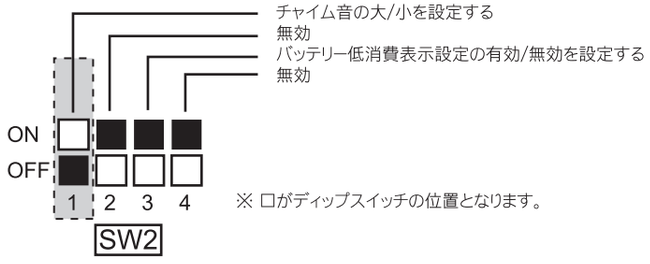
**1** ビスを外して裏板を外します。



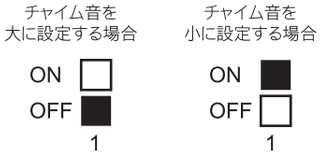
**2** チャイム音の大/小チャイム音設定は向かって右側のディップスイッチ（SW2）で設定します。




**3** チャイム音の大/小設定は工場出荷時には大に設定されています。必要に応じて設定してください。




［設定］




**4** 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

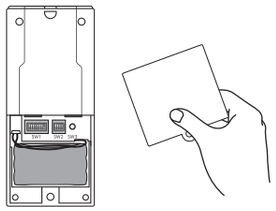
**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。



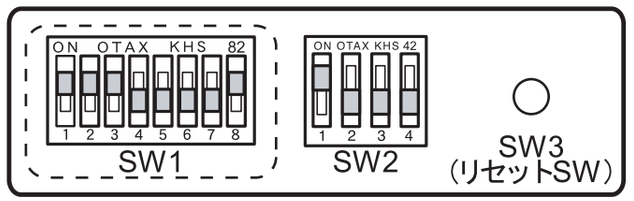
## ダブルチャンネルの有効/無効

異なる2つのチャンネルを1台の携帯受信表示機で受信可能にする「ダブルチャンネル」の有効/無効を設定できます。

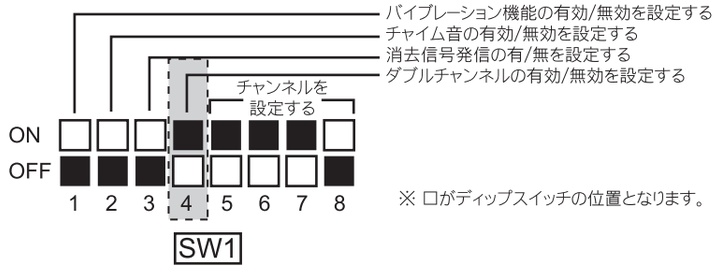
**1** ビスを外して裏板を外します。



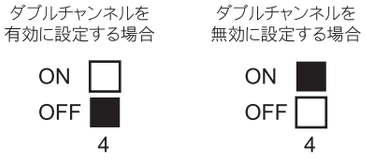
**2** ダブルチャンネルの有効/無効は向かって左側のディップスイッチ（SW1）で設定します。




**3** ダブルチャンネルの有効/無効設定は工場出荷時には無効に設定されています。必要に応じて設定してください。




［設定］



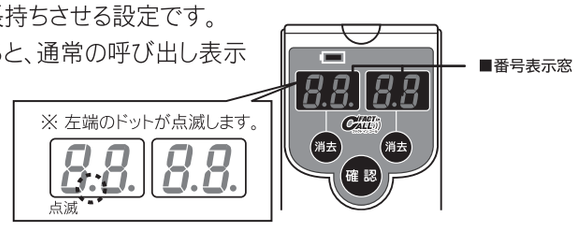

**4** 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

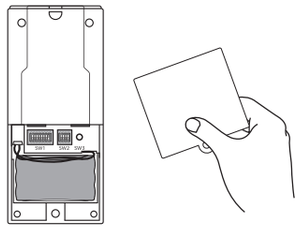
**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。

## バッテリー低消費表示設定の有効/無効

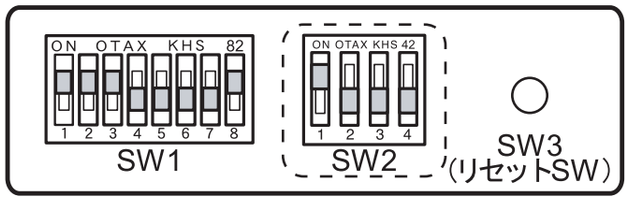
呼び出しがある状態で操作や受信がない状態が10秒続くと番号表示窓の表示を消去し、ドットランプの点滅表示に切り替えることで、バッテリーを長持ちさせる設定です。
確認キーを押す、あるいは呼び出しを受信すると、通常の呼び出し表示に戻ります。



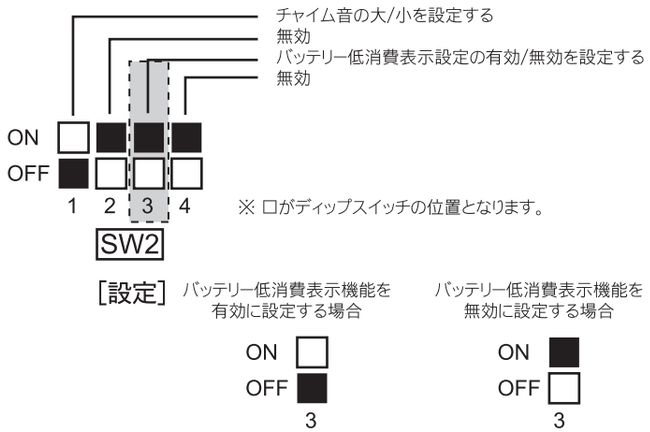

**1** ビスを外して裏板を外します。



**2** バッテリー低消費表示設定の有効/無効は向かって右側のディップスイッチ(SW2)で設定します。




**3** バッテリー低消費表示設定の有効/無効は工場出荷時には無効に設定されています。必要に応じて設定してください。




**4** 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

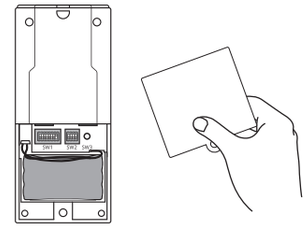
**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。



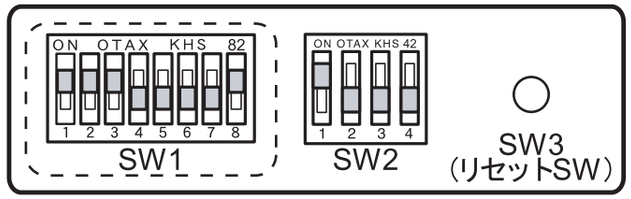
## 消去信号発信の有効/無効

番号を消去するための信号発信の有効/無効を設定します。有効に設定しておくことで他の携帯受信機や受信表示機の番号表示を消去できます。

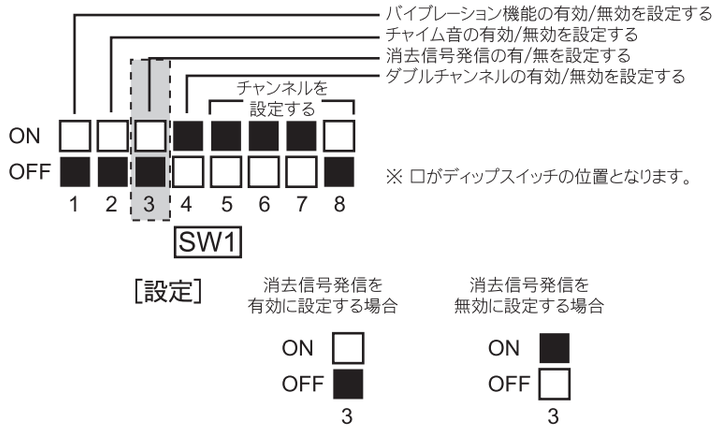
**1** ビスを外して裏板を外します。



**2** 消去信号発信の有効/無効は向かって左側のディップスイッチ(SW1)で設定します。




**3** 消去信号の発信の有効/無効設定は工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定してください。



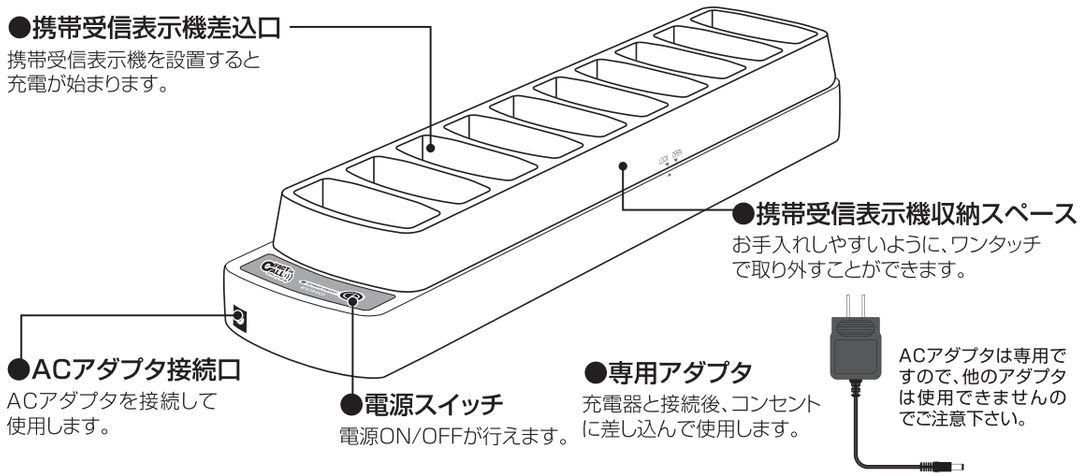

**4** 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず**待受状態でリセットSWを押してください。**

**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。

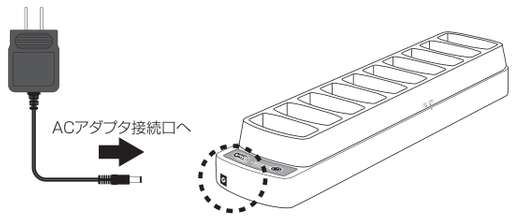
# 充電器

## 各部の名称

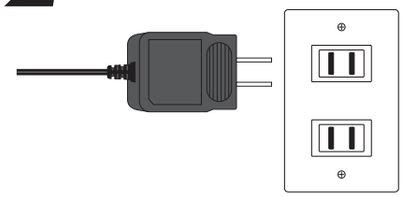



### 充電方法

**1** 充電器にACアダプタを接続します。

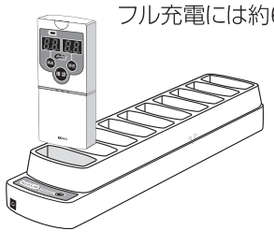



**2** ACアダプタをコンセントに差し込みます。



**3** 電源スイッチを押します。
これで充電器の準備は完了です。

**4** 携帯受信表示機を携帯受信表示機差込口にセットします。
セットすると自動的に充電が始まります。
フル充電には約6時間必要です。



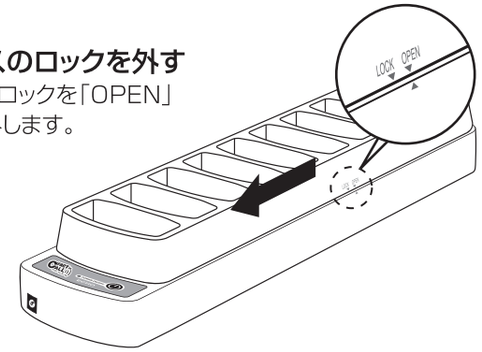
●充電中は携帯受信表示機の受信ランプが緑色に点灯します。●満充電数分前に受信ランプがゆっくり点滅し、その後消灯します。●携帯受信表示機のバッテリー残量が少なくなると、電池残量表示LEDが点灯します。その場合には速やかに充電してください。また電池残量が十分でないと誤作動する恐れがあります。●送信機・受信機・充電器の高温/低湿の場所での設置またはご使用は避けてください。動作不良や誤動作する原因になります。使用温度範囲約5℃-45℃（中継器含む）



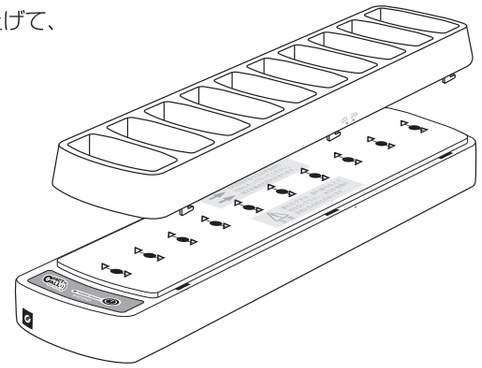
## 充電器のお手入れ方法

携帯受信表示機収納スペースにホコリなどが溜まりますと、充電不良の原因になることがあります。お手数ではありますが定期的に清掃することをおすすめします。

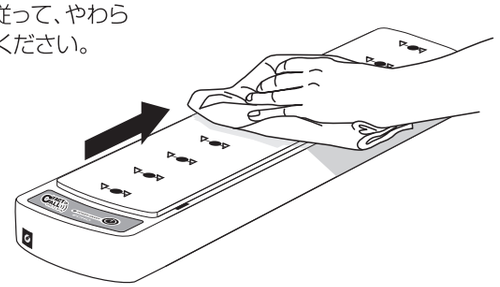
**1** 携帯受信表示機収納スペースのロックを外す
携帯受信表示機収納スペース横のロックを「OPEN」の位置までスライドさせ、ロックを外します。




**2** 携帯受信表示機収納スペースを取り外す
携帯受信表示機収納スペースを持ち上げて、充電器本体から取り外します。



**3** 汚れを拭き取る
充電器本体に記された矢印の方向に従って、やわらかい乾いた布などで汚れを拭き取ってください。

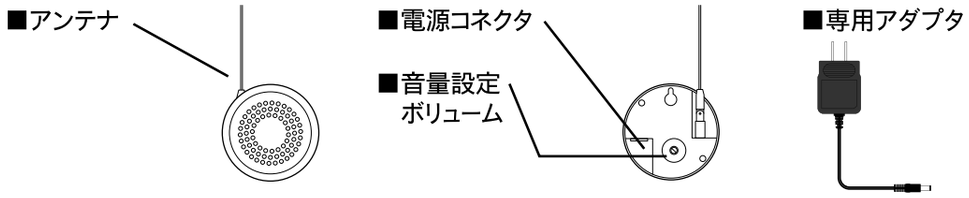


**ご注意**

- ●必ず矢印の方向に従って拭き取りを行ってください。方向を間違えると充電端子を痛めることがあります。
- ●濡れたタオルや濡れた雑巾などで拭かないでください。水分が故障の原因となることがあります。

# 受信スピーカー

## 各部の名称/機能



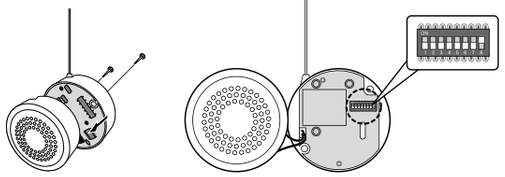

### チャンネルの設定

チャンネルは15（1～15）の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。

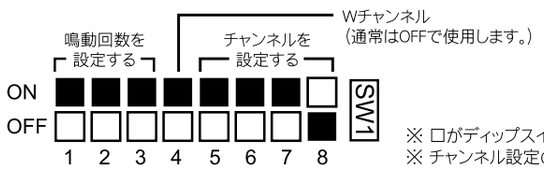
※通常、チャンネルを変更する必要はありません。受信スピーカーのチャンネルを変更した場合は、他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

**1** 電源が接続されている場合、専用アダプタの電源を外し受信スピーカーを取り外してください。

**2** 裏側のビス（2本）を外し、
表側（スピーカー部）を取り外します。



**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。
必要に応じてチャンネルを変更してください。




※ 口がディップスイッチの位置となります。
※ チャンネル設定の詳細につきましては、P.45をご参照ください。

**4** 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、ビスを取り付けます。

**⚠注 意** 電源を接続したままでの設定変更はできません。必ず電源を外してから設定変更してください。

**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

**（（（ワンポイント））)**

**●Wチャンネル**

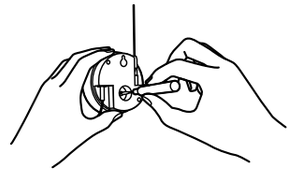
Wチャンネルとは、特定の2つのch（チャンネル）を受信できる機能です。チャンネル1～5を設定した場合において、対応した11～15のチャンネルも受信できます。

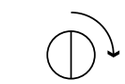
［例］1ch+11ch、 2ch+12ch、 3ch+13ch、 4ch+14ch、 5ch+15ch



### 音量設定

音量は音量設定ボリュームを操作して設定します。





音は大きくなる。

音は小さくなる。

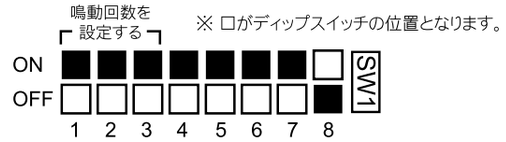
### 音色設定について

**重要** 送信機で音色設定します。設定OFFは、受信しません。

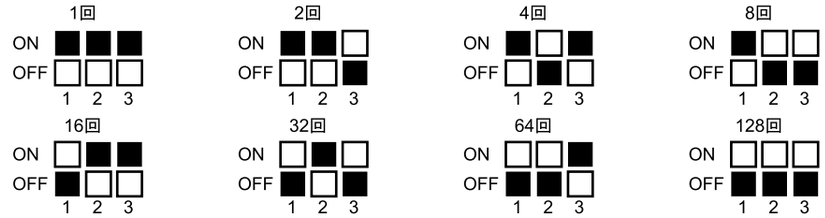
個別に送信機の音色を変える事により、どこで押されたか音で判断できます。
※音色設定の詳細につきましては、P.31及びP.44をご参照ください。

### 鳴動回数設定

鳴動回数はディップスイッチで設定します。
（工場出荷時には、1回に設定されています。）




［鳴動回数設定一覧］




**重要** 設定された鳴動回数のチャイム音が鳴り終わるまで次の受信はできません。

### 設置場所

**重要** 電波を受信する受信表示機・携帯受信表示機・受信スピーカー・中継機（リピーター）は、周囲のノイズ（妨害電波）に影響を受けた場合、送信機・消去機・携帯受信表示機からの信号を的確に受信できず正常に作動しない場合があります。
受信表示機・受信スピーカー・中継機（リピーター）は、ノイズ（妨害電波）を発生させやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。
また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意ください。
他に、電波やノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。

◎ノイズ（妨害電波）を発生させやすい機器の例
空調機・室外機 / 冷蔵庫 / 冷蔵ケース・室外機 / 通信関連の中継機（OES・携帯電話・無線LAN）/
その他消費電力（W数）の多い電気器具のオン・オフ時等

**⚠注 意** 火災や感電の恐れがあるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。

**（（（ワンポイント））)**

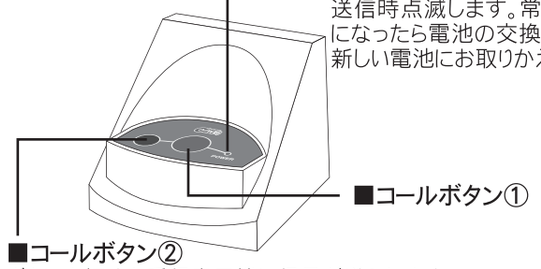
**●**金属類に近い場所に設置すると電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置してください。

**●**固い床の上などに落とすと故障する場合があります。なるべく落下しにくい場所へ設置してください。

# 送信機

## 各部の名称/機能

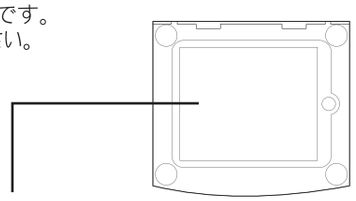
【スタンダード型】



■LED
送信時点滅します。常時点灯状態になったら電池の交換サインです。新しい電池にお取りかえください。

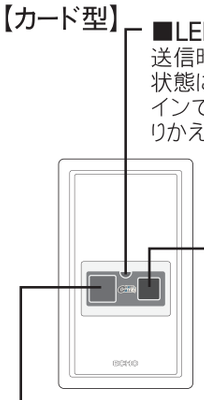
■コールボタン①

■コールボタン②
ボタンを押すと受信表示機に信号が送られます。
同時にピッと発信音が鳴り、LEDランプが点滅します。



■設定用蓋
蓋をあけて電池交換や番号表示色、チャンネルを設定します（ディップスイッチによる）。

【カード型】

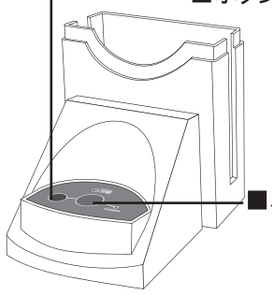


■LED
送信時点滅します。常時点灯状態になったら電池の交換サインです。新しい電池にお取りかえください。

■コールボタン②
ボタンを押すと受信表示機に信号が送られます。
同時にピピッと発信音が鳴り、LEDランプが点滅します。

■コールボタン①

【ナプキンスタンド型】



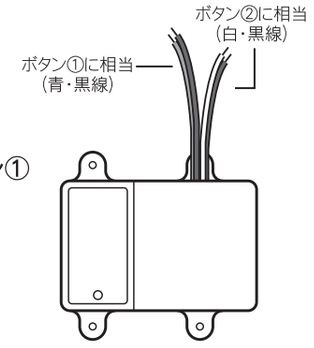
■ボタン②

■ボタン①

ボタン①、ボタン②は設定により色を変えたり、消去ボタンに変更することができます。

【外部入力型】

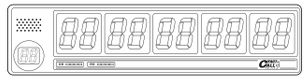
リレー接点などに繋いで使用します。

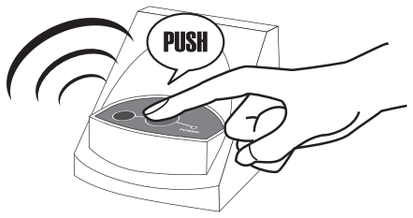



## 使用方法

・コールボタンを押すと受信表示機に信号が送られます。
同時にピッと発信音が鳴ります。

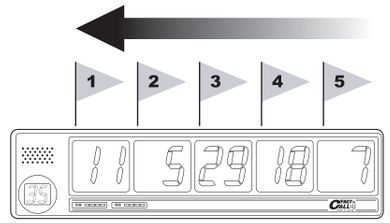
※スタンダードでご説明しています。他の機種でも基本的に使用方法は同じです。








・受信表示機に、送信機に登録されている番号が登録されている色で表示されます。
番号の大きい小さいに関わらず、左窓から順番に番号が表示されていきます。




**重要**　送信機には、日本の電波法上、発信間隔約2秒のタイムラグが設けてあります。

## 設置場所

**⚠注意**　腐食や故障の原因となるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。

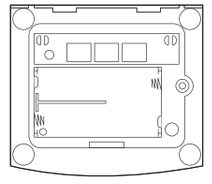
（ワンポイント）

●金属類に近い場所に設置すると電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置してください。
●固い床の上などに落とすと故障する場合があります。なるべく落下しにくい場所へ設置してください。

## 電池交換方法

コールボタンを押しても受信表示機に番号が表示されない時や、ピッという発信音が鳴らない時、LEDランプが点滅しない時は、電池の寿命が考えられます。
速やかに新しい電池に交換してください。

**1** ビスを外して設定用蓋を開け、電池を取り外します。

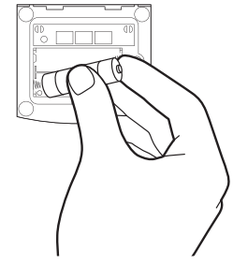


■スタンダード型の場合

**2** 新しい電池を入れます（極性を間違えないように注意してください）。

［使用する電池の種類と本数］

| | |
|---|---|
| スタンダード | 単3アルカリ乾電池×2本 |
| 外部入力型 | 単3アルカリ乾電池×2本 |
| カード型 | アルカリボタン電池×2個 |



**3** 設定用蓋を閉じます。

（ワンポイント）

電池はアルカリ乾電池（アルカリボタン電池）のご使用をおすすめしています。電池の寿命はおよそ1年です（使用環境によって異なります）。

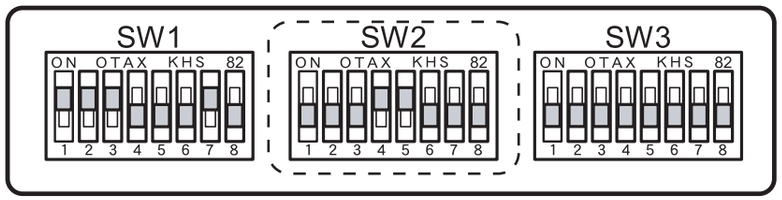
## チャンネルの設定（スタンダード型・ナプキンスタンド型・外部入力型・カード型）

チャンネルは15（1～15）の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。チャンネルの設定には向かって中央のスイッチ（SW2）を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

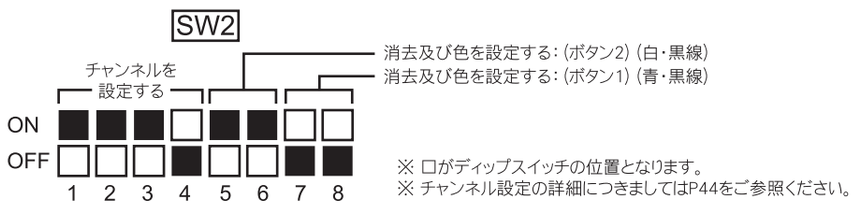
※通常、チャンネルを変更する必要はありません。送信機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

**1** 設定用蓋を開けます。

**2** チャンネルは向かって中央のディップスイッチ（SW2）で設定します。




**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。
必要に応じてチャンネルを変更してください。




※ 口がディップスイッチの位置となります。
※ チャンネル設定の詳細につきましてはP44をご参照ください。

**4** 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。

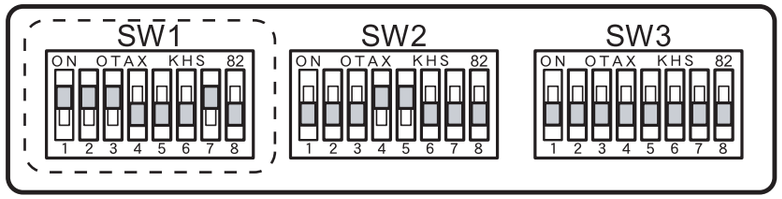


## 番号の設定（スタンダード型・ナプキンスタンド型・外部入力型・カード型）

送信機の番号は1～FFの範囲で設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。番号の設定には向かって左側のスイッチ（SW1）を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

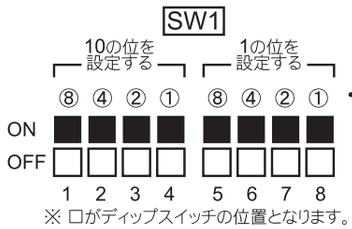
**1** 設定用蓋を開けます。

**2** 番号は向かって左側のディップスイッチ（SW1）で設定します。




**⚠注 意** 中央、右側のスイッチは動かさないでください。

**3** 必要に応じて番号を設定してください。



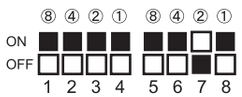

・・・・・ 各位のスイッチの和が表示番号となります。

※ 口がディップスイッチの位置となります。

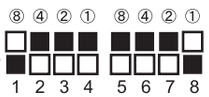
注意：和が10以上に設定された時、アルファベットのA～Fの表示になります。

［設定例］

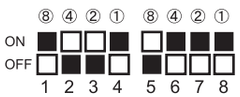
（番号を2に設定する場合）



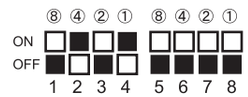

（番号を81に設定する場合）




（番号を68に設定する場合）




（番号をAFに設定する場合）



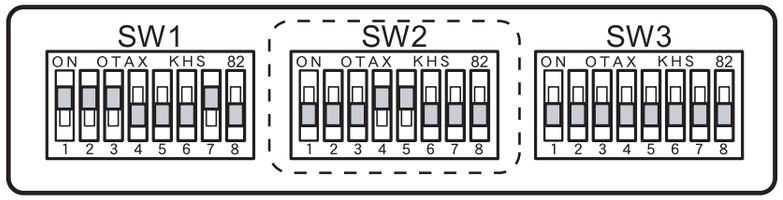

**4** 希望する番号にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

## 表示色の設定（スタンダード型・ナプキンスタンド型・外部入力型・カード型）

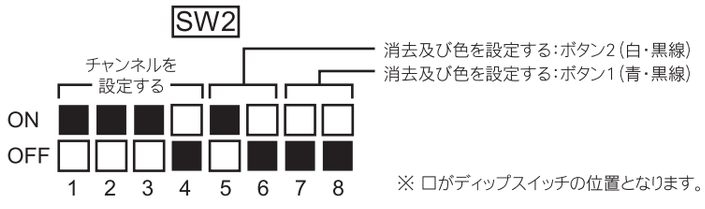
受信表示機に表示させる色（赤・黄・緑）及び消去の中から設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。表示色設定には向かって中央のスイッチ（SW2）を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

**1** 設定用蓋を開けます。

**2** 表示色設定は向かって中央のディップスイッチ（SW2）で設定します。




**3** 必要に応じて表示色を設定してください。（工場出荷時には赤色に設定されています。）




※ 口がディップスイッチの位置となります。

［ディップスイッチの設定］

| | （赤色に設定する場合） | （黄色に設定する場合） | （緑色に設定する場合） | （消去に設定する場合） |
|---|---|---|---|---|
| ボタン1（青・黒線） | ON □□ OFF ■■ 7 8 | ON □■ OFF ■□ 7 8 | ON ■□ OFF □■ 7 8 | ON ■■ OFF □□ 7 8 |
| ボタン2（白・黒線） | ON □□ OFF ■■ 5 6 | ON □■ OFF ■□ 5 6 | ON ■□ OFF □■ 5 6 | ON ■■ OFF □□ 5 6 |

**4** 希望する表示色にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

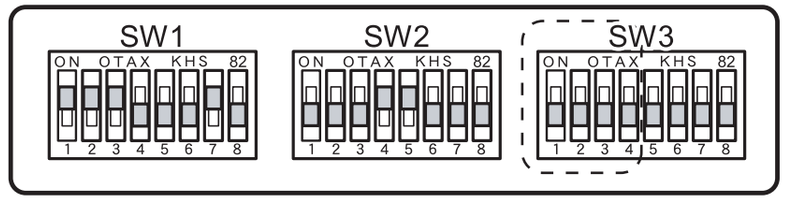


## 音色の設定（スタンダード型・ナプキンスタンド型・外部入力型・カード型）

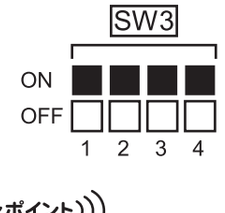
受信表示機から出るチャイム音を13種類の中から個別に設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。音色設定には向かって右側のスイッチ（SW3）を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

**1** 設定用蓋を開けます。

**2** 音色設定は向かって右側のディップスイッチ（SW3）で設定します。




**3** 必要に応じて音色を設定してください。




※ 口がディップスイッチの位置となります。
※ 音色設定の詳細につきましてはP44をご参照ください。

**（ワンポイント）**

- 音色設定が未設定の場合、受信表示機側の設定音が鳴ります。
  送信機側の音色設定がある場合、送信機側の設定が優先されます。
- 消去設定機の音色ボタンを押すとチャイム音がロータリー式に出力されると同時に受信表示機のコール残数窓に音色番号が表示されます。
  お好みのチャイム音の音色番号を選んで設定してください。
  ※チャイム音は受信表示機のスピーカーから出力されます。

**4** 希望する音色にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

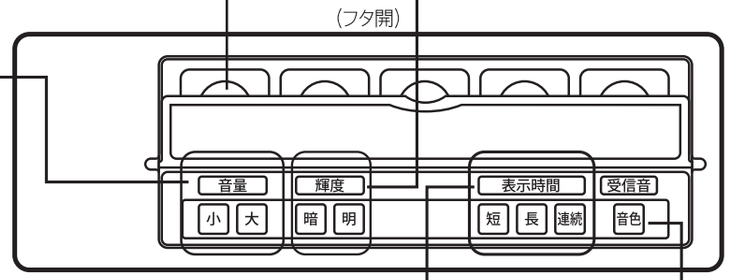
# 消去＆設定機

## 各部の名称/機能

■チェックボタン
受信表示機に表示された番号を消去する時に使用します。

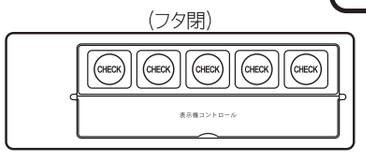
■明るさ設定ボタン
LEDの明るさを16段階で設定できます。

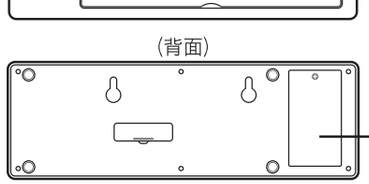
■音量設定ボタン
呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定できます。




■表示時間設定ボタン
呼出し番号の自動消去時間を設定できます。

■音色設定ボタン
呼び出しチャイム音の音色を設定できます。

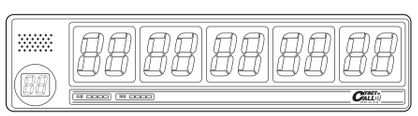


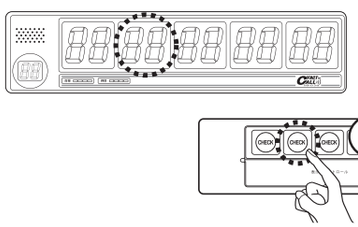

■電池蓋

### 消去&設定機の使用方法

●受信表示機の設定



●表示番号の消去




ボタン位置は受信表示機の表示窓位置と対応しています。

➲左から2つ目の番号表示を消去したい時には、消去＆設定機の左から2つ目のチェックボタンを押します。

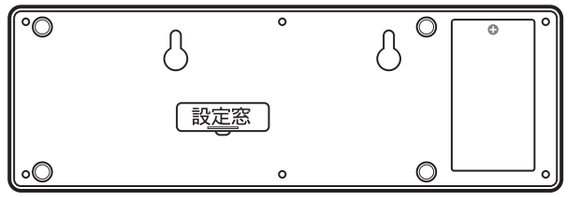


### チャンネルの設定

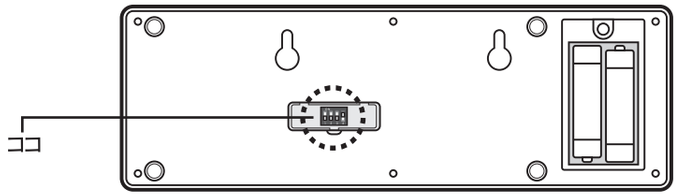
チャンネルは15（1～15）の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。
設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。消去&設定機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

**1** 設定用蓋を開けます。




**2** チャンネルはディップスイッチで設定します。




**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。
必要に応じてチャンネルを変更してください。

※ チャンネル設定の詳細につきましてはP45をご参照ください。

**4** 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

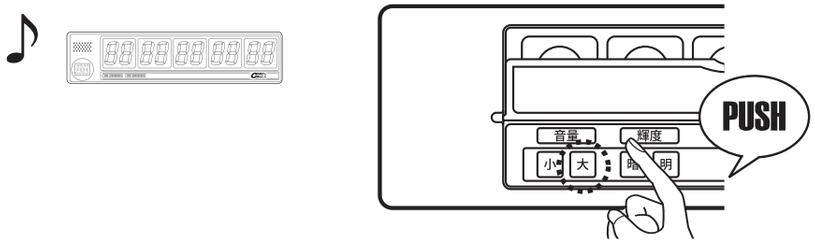
## 音量設定

呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定することができます。

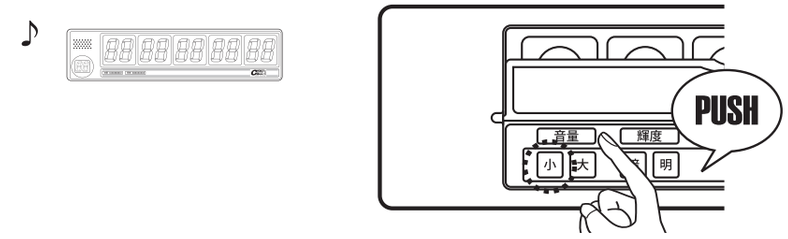
※チャイム音は受信表示機のスピーカから出力されます。

**1** 工場出荷時の状態では音量は2に設定されています。

**2** 音量を大きくしたい時は、「大」ボタンを押します。ボタンを押した分だけ音量が大きくなります（音量16まで）。その都度、チャイム音と受信表示機に設定されている音色番号（1～13）がコール残数表示窓に表示されます。




**3** 音量を小さくしたい時は、「小」ボタンを押します。ボタンを押した分だけ音量が小さくなります（音量0まで）。その都度、チャイム音と受信表示機に設定されている音色番号（1～13）がコール残数表示窓に表示されます。



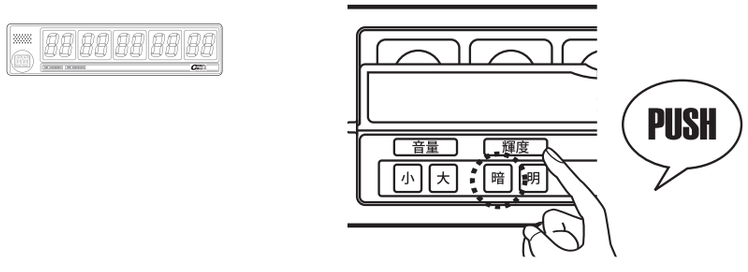

**4** お好みの音量に設定されたことを確認し、設定を終了します。

## 明るさ設定

受信表示機のLEDの明るさを16段階で設定できます。
明るさや照明の状態に応じて設定してください。

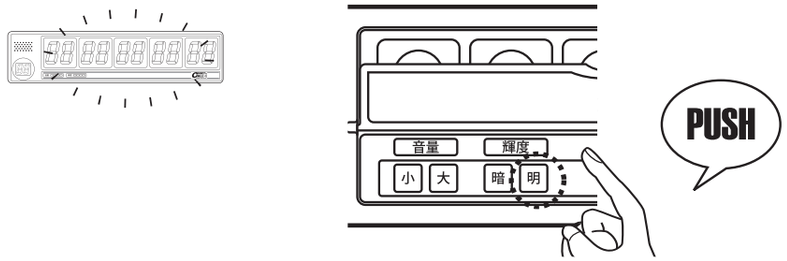
**1** 工場出荷時の状態では明るさは（最大）に設定されています。

**2** LED表示を暗く設定したい時は、「暗」ボタンを押します。ボタンを押した分だけLED表示は暗くなります。






**3** LED表示を明るく設定したい時は、「明」ボタンを押します。ボタンを押した分だけLED表示は明るくなります。



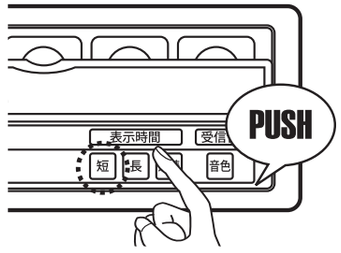

**4** 見やすい明るさに設定されたことを確認し、設定を終了します。

## 表示時間設定

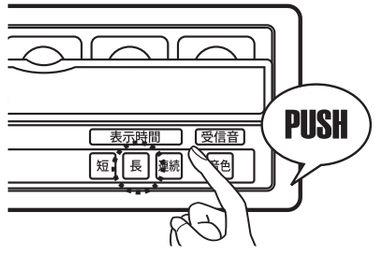
呼出し番号を自動で消去するまでの時間を設定できます。
「連続」に設定すると、自動消去機能は設定されません（消去機で消去するまで番号が表示されます）。

**1** 工場出荷時の状態では、「連続」に設定されています。

**2** 表示されている時間を短く設定したい時は「短」ボタンを押します。番号表示後約2分経過すると自動で番号表示が消去されます。
コール残数表示窓に「短」ボタンを押すと A（A）の表示が出ます。表示で設定が確認できます。




**3** 表示されている時間を長く設定したい時は「長」ボタンを押します。番号表示後約3分経過すると自動で番号表示が消去されます。
コール残数表示窓に「長」ボタンを押すと b（B）の表示が出ます。表示で設定が確認できます。




**4** 「連続」ボタンを押すと、自動消去機能がキャンセルされます。番号表示を消去したい時は、チェックボタンを使用してください。
コール残数表示窓に「連続」ボタンを押すと C（C）の表示が出ます。表示で設定が確認できます。

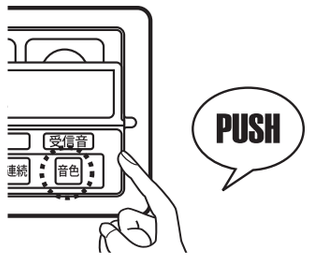
**⚠注 意**

自動消去機能を設定した場合、番号表示が消去されてしまう可能性があります。トラブルを未然に防ぐためにも、通常は「連続」の状態でご使用になられることをおすすめします。

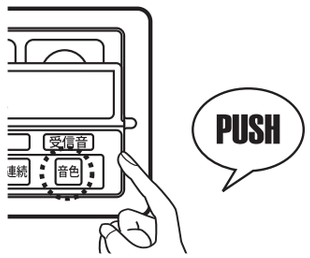
## 音色設定ボタン

呼び出しチャイム音の音色を13種類の音の中から設定できます。

**1** 「音色」ボタンを押します。チャイム音が出力されます。



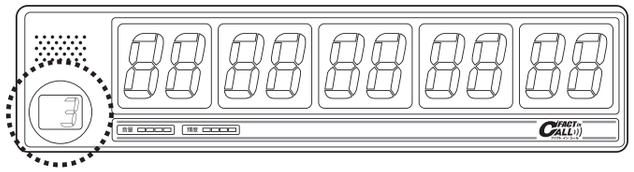

**2** もう一度「音色」ボタンを押すと別のチャイム音が出力されます。




**3** お好みの音色を13種類の音色の中からお選びください。

**4** 「音色」ボタンはロータリー切り替え式になっています。13種類のチャイム音を出力し終わると、最初に戻ってチャイム音を出力します。

受信機コール残数表示窓に音色ボタンを押すと1～13の数字が表示されます。



**⚠注 意** 送信機側の音色設定がある場合、送信機側の音色設定が優先されるため送信機側の音色設定音が出ます。

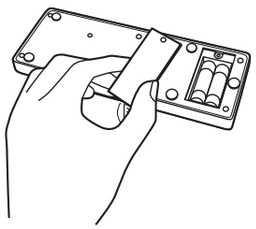
**5** お好みのチャイム音が設定されたことを確認し、音色設定を終了します。



## 電池交換方法

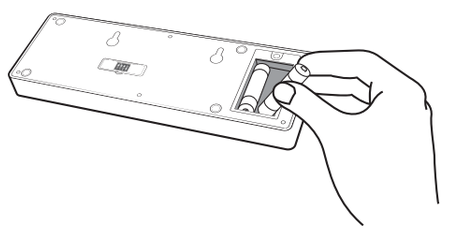
チェックボタンを押しても受信表示機の番号を消去できない時や、明るさ設定ボタンを押してもLEDの明るさが変化しないような場合には、電池の寿命が考えられます。
速やかに新しい電池に交換してください。

**1** ビスを外して電池蓋を開け、電池を取り外します。



**2** 新しい電池を入れます（極性を間違えないように注意してください）。

・消去&設定機には単3アルカリ乾電池×2本を使用します。



**3** 電池蓋を閉じます。

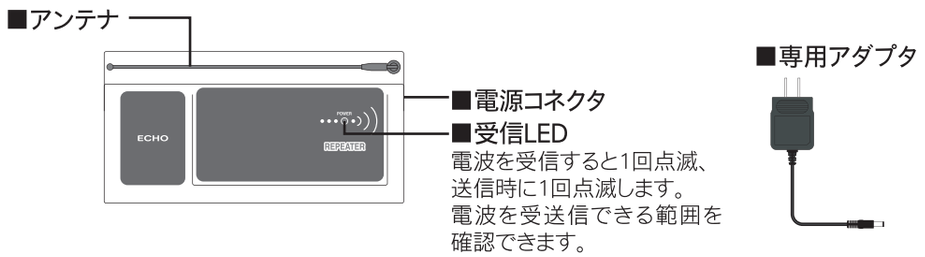
**(((ワンポイント)))**

電池はアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。電池の寿命はおよそ1年です（使用環境によって異なります）。

**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

# リピータ（中継機）

## 各部の名称/機能



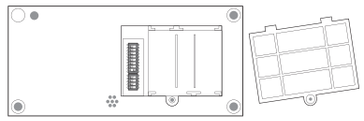

### チャンネルの設定

チャンネルは15（1～15）の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。リピータ（中継機）には2個のディップスイッチがあります。チャンネルの設定には、向かって右側のスイッチ（SW1）を使用します。設定の際には、スイッチを間違えないようご注意ください。

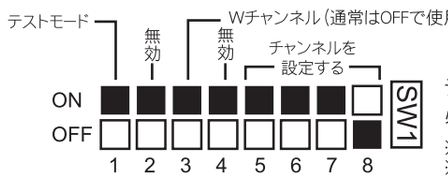
※通常、チャンネルを変更する必要はありません。リピータのチャンネルを変更した場合は、他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

**1** 電源が接続されている場合、専用アダプタの電源を外し
リピータ（中継機）を取り外してください。

**2** 設定用蓋を外してください。



**3** チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。
必要に応じてチャンネルを変更してください。




ディップスイッチNo.1,2,4の設定は
必ずOFFで使用してください。

※ 口がディップスイッチの位置となります。
※ チャンネル設定の詳細につきましては、P45をご参照ください。

**（（（ワンポイント））)**

**●Wチャンネル**

Wチャンネルとは、特定の2つのch（チャンネル）を受信できる機能です。チャンネル1～5を設定した場合において、対応した11～15のチャンネルも受信できます。

［例］1ch+11ch、2ch+12ch、3ch+13ch、4ch+14ch、5ch+15ch

**●テストモード（ディップスイッチNo.1 ON時）**

リピーターからの電波が受信表示機に届く範囲を調べる機能です。

送信機の番号+1の番号が受信機に表示されます。



**⚠注 意** テストモードを使用した場合は、使用後、必ずテストモードをOFFに戻してご使用ください。

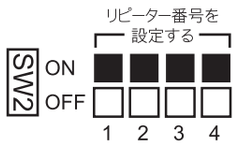
**4** 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

**⚠注 意** 電源を接続したままでの設定変更はできません。必ず電源を外してから設定変更してください。

**⚠注 意** ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。
又は、ケース本体が破損することがあります。

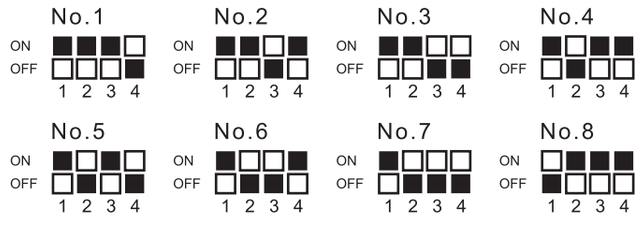
### リピータ番号の設定

リピータ番号はNo.1～No.8までの設定です。工場出荷時にはNo.1に設定されています。
リピータ（中継機）には2個のディップスイッチがあります。リピータ番号の設定には、向かって左側のスイッチ（SW2）を使用します。設定の際には、スイッチを間違えないようご注意ください。




※ 口がディップスイッチの位置となります。

［設定一覧］




**重要** リピータ番号の同番号の組み合わせの使用は出来ません。
複数台使用の場合はリピータ番号をNo.1～No.8の順序で使用してください。

**⚠注 意** 電源を接続したままでの設定変更はできません。必ず電源を外してから設定変更してください。

### 設置場所

**重要** 本機を設置する場合は、設置場所に注意が必要です。詳細はP.3（「設置場所に関するご注意」）をご覧ください。

**⚠注 意** 火災や感電の恐れがあるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。

**（（（ワンポイント））)**

**●**金属類に近い場所に設置すると電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置してください。

**●**固い床の上などに落とすと故障する場合があります。なるべく落下しにくい場所へ設置してください。

◆専用の取付金具をご用意しています。（オプション）

# お手入れ方法

**⚠警告**　感電の恐れがありますのでお手入れの前には電源プラグを抜いてください。

**お手入れ**

●汚れが気になる場合には固く絞った柔らかい布で拭いてください。
●汚れがひどい場合には、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固く絞った柔らかい布でよく拭いてください。
（特に冬場には静電気の影響でホコリが付きやすくなることがあります）

**⚠警告**　火災や感電の恐れがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

**⚠注意**　ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください（プラスチックが割れてケガをする恐れがあります）

# 故障かな？と思ったら

**送信機のコールボタンを押しても、受信表示機に何も表示されない。**

➲受信表示機の電源プラグがコンセントに接続されているか確認してください。
➲チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。
➲受信表示機のリセットSWを押してください。
➲送信機の電池を確認してください。

**送信機のコールボタンを押していないのに、番号が表示される。**

➲混線の可能性がありますので、別のチャンネルを設定してみてください。

◎問題が解決しない場合には販売店にご相談ください。



# 仕様

**●受信表示機**

| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-100 |
| サイズ（W×D×H） | 550×55×130mm |
| 重　　量 | 約1,350g（コード含む） |
| 電　　源 | AC100V |
| 消 費 電 力 | 約15W |
| 受信周波数 | 426.025MHz～（特定小電力） |
| 受 信 方 式 | 単信方式 |
| 受 信 距 離 | 約100m（使用環境により変わります） |
| 表 示 方 式 | 2桁5窓　着信順3色表示　設定番号及びコール残数表示 |
| チャイム音 | 13種類ロータリー設定 |
| 音 量 調 節 | 16段階 |
| スピーカー出力 | 300mW |
| LED輝度調節 | 16段階 |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 使 用 温 度 | -10℃～50℃ |

**●携帯受信表示機**

| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-200 |
| サイズ（W×D×H） | 51×129×21mm |
| 重　　量 | 約110g（電池パック含む） |
| 電　　源 | ニッケル水素充電池 |
| 送信周波数 | 426.025MHz～（特定小電力） |
| 送受信方式 | 単信方式 |
| 送信出力（消去時） | 1mW |
| 送信時動作 | 5kHzの電子音（ピッ） |
| 表 示 方 式 | 2桁2窓　着信順3色表示 |
| メモリ記憶数 | 50件 |
| 充 電 時 間 | 約6時間 |
| 待 受 時 間 | 約9時間（使用環境により変わります） |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 使 用 温 度 | -10℃～50℃ |

**●充電器**

| | | |
|---|---|---|
| 型　　式 | F-705（5台タイプ） | F-710（10台タイプ） |
| サイズ（W×D×H） | 79×165×54mm | 79×290×54mm |
| 重　　量 | 約400g | 約550g |
| 電　　源 | DC6V専用アダプター | DC6V専用アダプター |
| 充 電 時 間 | 約6時間 | 約6時間 |
| 充 電 方 式 | 接点充電 | 接点充電 |
| セパレーツ式 | 収納部セパレート方式（掃除可能） | 収納部セパレート方式（掃除可能） |
| 消 費 電 力 | 約12W（ピーク時） | 約24W（ピーク時） |

# 仕様

### ●消去機&設定機

| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-400 |
| サイズ(W×D×H) | 245×80×25mm |
| 重　　量 | 約230g(単三アルカリ乾電池×2本含む) |
| 電　　源 | 単三アルカリ電池×2本 |
| 送信周波数 | 426.025MHz～(特定小電力) |
| 送信方式 | 単信方式 |
| 送信出力 | 1mW |
| 送信時動作 | 5kHzの電子音(ピッ) |
| 設　　定 | 音量·表示輝度·自動消去時間·音色 |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 使用温度 | -10℃～50℃ |

### ●送信機(スタンダード型·ナプキンスタンド型)

| | | |
|---|---|---|
| 型　　式 | F-301(スタンダード型) | F-303(ナプキンスタンド型) |
| サイズ(W×D×H) | 85×78×71mm | 99×120×111mm |
| 重　　量 | 約150g(単三アルカリ電池×2本含む) | 約240g(単三アルカリ電池×2本含む) |
| 電　　源 | 単三アルカリ電池×2本 | |
| 送信周波数 | 426.025MHz～(特定小電力) | |
| 送信方式 | 単信方式 | |
| 送信出力 | 1mW | |
| チャイム音設定 | ディップスイッチにて13種類 | |
| 送信時動作 | 5kHzの電子音(ピッ) | |
| 番号設定 | 1～FF | |
| 表示色設定 | 各ボタン3色 | |
| チャンネル | 1～15チャンネル | |
| 使用温度 | -10℃～50℃ | |

### ●送信機(カード型)

| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-302 |
| サイズ(W×D×H) | 55×93×11mm (ホルダー装着時は60×98×15mm) |
| 重　　量 | 約35g(アルカリボタン電池×2個含む。ホルダー装着時は約55g) |
| 電　　源 | アルカリボタン電池LR44×2個 |
| 送信周波数 | 426.025MHz～(特定小電力) |
| 送信方式 | 単信方式 |
| 送信出力 | 1mW |
| チャイム音設定 | ディップスイッチにて13種類 |
| 送信時動作 | 5kHzの電子音(ピピッ) |
| 番号設定 | 1～FF |
| 表示色設定 | 各ボタン3色 |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 使用温度 | -10℃～50℃ |



# 仕様

### ●送信機(外部入力型)

| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-304 |
| サイズ(W×D×H) | 106×115×25mm(リード線部含まず) |
| 重　　量 | 約145g(単三アルカリ電池×2本含む) |
| 電　　源 | 単三アルカリ電池×2本 |
| 送信周波数 | 426.025MHz～(特定小電力) |
| 送信方式 | 単信方式 |
| 送信出力 | 1mW |
| チャイム音設定 | ディップスイッチにて13種類 |
| 送信時動作 | 5kHzの電子音(ピッ) |
| 番号設定 | 1～FF |
| 表示色設定 | 各ボタン3色 |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 使用温度 | -10℃～50℃ |

### ●リピータ(中継機)

| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-500 |
| サイズ(W×D×H) | 170×85×40mm(アンテナ部含まず) |
| 重　　量 | 約160g |
| 電　　源 | DC9V専用アダプター |
| 送受信周波数 | 426.025MHz～(特定小電力) |
| 送受信方式 | 単信方式 |
| 送信出力 | 1mW |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 中継機番号設定 | 1～8 |
| 使用温度 | -10℃～50℃ |

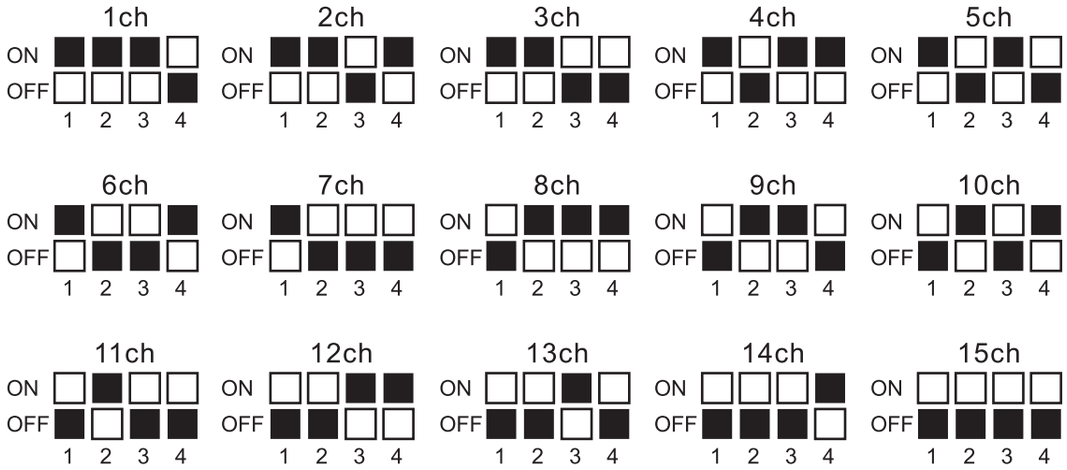
※専用取付金具有り(別売)

### ●受信スピーカー

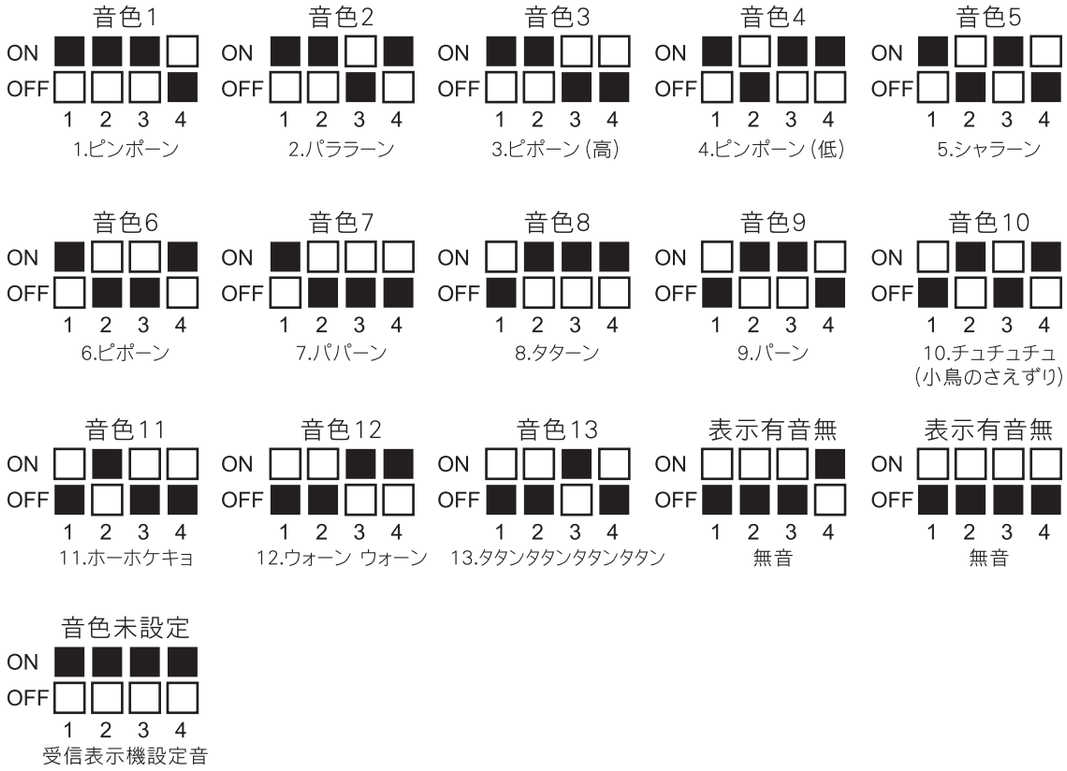
| | |
|---|---|
| 型　　式 | F-600 |
| サイズ(W×D×H) | 80×80×50mm |
| 重　　量 | 約125g |
| 電　　源 | DC9V専用アダプター |
| 受信周波数 | 426.025MHz～(特定小電力) |
| 受信方式 | 単信方式 |
| 受信距離 | 約100m(使用環境により変わります) |
| 鳴動回数設定 | ディップスイッチにて8種類 |
| 音量調節 | 回転式ボリューム(無段階) |
| スピーカー出力 | 300mW |
| チャンネル | 1～15チャンネル |
| 使用温度 | -10℃～50℃ |

# ディップスイッチ設定一覧　※ 口がディップスイッチの位置となります。

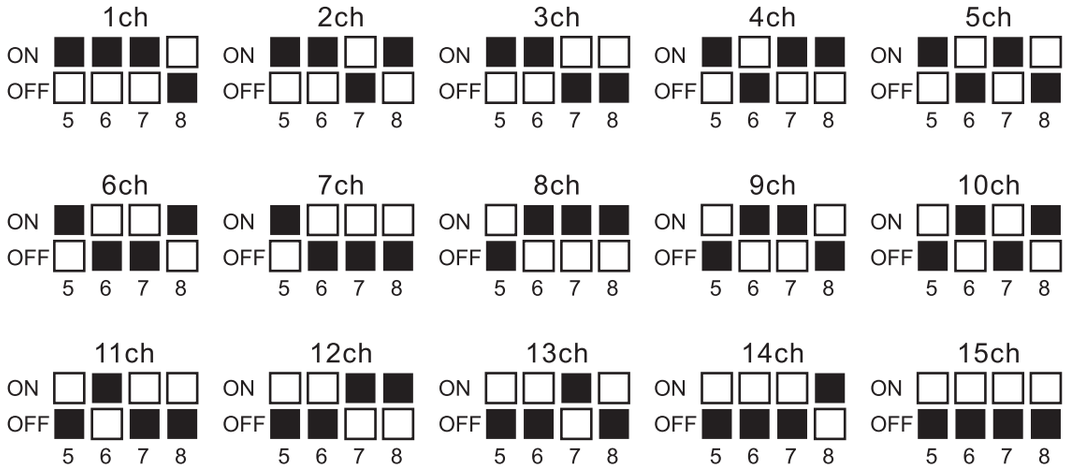
## ●送信機チャンネル変更ディップスイッチ（SW2）




## ●送信機音色変更ディップスイッチ（SW3）




## ●受信表示機・受信スピーカー・リピータ（中継機）・携帯受信表示機共通チャンネル変更ディップスイッチ（SW1）




## ●消去&設定機チャンネル変更ディップスイッチ（SW1）